



ながす議会だより No.130

潮が



今年も祭りの季節が
やってきました!!

平成29年 第2回(6月)定例会

一般会計補正予算 ～骨格を肉付けへ～

②

一般質問 11人が登壇し町政を問う

④

夢づくりトーク with 議会 ～長洲中学校3年生～

⑫

えべっさん海祭り

あなたの健康ポイントで応援

第2回定例会

6月19日～23日(5日間)

町長から3月の予算に対し肉付け予算が生まれ、提案された議案4件・報告2件などを審議し、全て原案のとおり可決した。



答 (福祉保健介護課長)
町民の健康維持、増進、介護予防、地域社会への貢献活動する人にポイントを付与しそれに応じた健康商品を提供するものである。

問 (竹本議員)
健康ポイント事業のすすめ方は。



問 (福本議員)
合併60周年記念シンポジウムの内容は。

答 (総務課長)
長洲町出身で活躍中の3名のパネリストのディスカッションで郷土愛を語ってもらい、まちづくりに参加してもらいたい。

一般会計補正
3億8774万円

総額
65億6607万円



都市計画道路
整備事業
「赤田・上沖洲線」
550万円

幹線町道整備事業
「上沖洲・鷺巣線」
「折地・向野線」
「塩屋・赤崎線」
1815万円



問 (大森議員)
小中学校のトイレの洋式化への改修は。

答 (学校教育課長)
平成28年度までに40%の整備が行われ平成35年度までに50%以上を目標に計画している。

平成29年度下水道事業会計補正予算

科 目	既決予定額	補正予定額	計	概 要
下水道事業収益	8億7754万円	380万円	8億8134万円	企業の経常的経営活動に伴って発生する収入(下水道使用料)
営 業 外 収 益	5億3985万円	380万円	5億4365万円	浄化センター等の施設の改築更新時に発生する撤去品の売却額
資 本 的 収 入	11億5381万円	2586万円	11億7967万円	建設投資などの財源となる企業債、他会計繰入金、国庫(県)補助金等の収入
企 業 債	3億8350万円	250万円	3億8600万円	事業費の増額による公共下水道事業債の増額分
国 庫 補 助 金	4億5973万円	2169万円	4億8142万円	国庫補助内示額の増額による公共下水道国庫補助金の増額分
工 事 負 担 金	1億6799万円	167万円	1億6966万円	事業費の増額による玉名市分担金の増額分
資 本 的 支 出	14億4499万円	2796万円	14億7295万円	新たな施設の整備や既存施設の改築更新などの建設改良費や企業債償還金等の支出
建 設 改 良 費	9億700万円	2587万円	9億3287万円	国庫補助内示額による浄化センター再構築事業委託料の変更増額分
国庫補助返還金	0万円	209万円	209万円	対象物件が補助対象物件である場合による補助金返還金

条例の一部改正

町職員の分限に関する条例の一部改正

【内容】

地方公務員法の分限休職処分期間が、国や県内他自治体を含め3年とされており、町職員が不利益を受けることのないよう均衡を図るため。

全員賛成 可決

水域環境保全創造事業に伴う分担金徴収条例の一部改正

【内容】

国の制度が見直され、補助事業と交付金事業に分かれたことから、条例の名称と事業名を変更するもの。

全員賛成 可決

報告

平成28年度一般会計繰越明許費の報告

【内容】

地方自治法の規定により、総務費、農林水産業費、土木費、教

育費の一部を平成29年度に繰り越したものの。

【質疑】

問 (福永議員)

暗渠排水が地元負担ではなく町の持出しになっているが、地方債はいつ許可が認められ、国庫支出金はいつになったのか。

【答】

(農林水産課長)
決定通知、補助金の交付決定通知は平成28年11月21日に来ている。

平成28年度公共下水道特別会計繰越明許費の報告

【内容】

浄化センター機械濃縮棟建設事業、同ガスタンク改築事業、同管理棟耐震化事業について繰り越したものの。

【質疑】

問 (福永議員)

速やかに施工することだがもう何カ月か経過している。前年度の事業進行に努めて今の状況か。

【答】

(下水道課長)
熊本地震の影響で、業者がいなかったことが繰り越しの原因で、早期に竣工できるよう進めていく。

審 議 結 果 <全議案可決>

賛成…○ 反対…× 欠(退)席…欠
*議長は表決に加わりません。

議案番号	件 名	福本みや子	大森 秀久	竹本 信次	荒木 睦子	磯野 博	浦辺 朝章	樋口エミ子	宮本哲太郎	市原 一広	浜村 芳光	徳永 範昭	福永 栄助	浜崎 久	松井 一也
議案第19号	平成29年度長洲町一般会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

*この審議結果は賛否の分かれたものについてのみ表記しました。

6月定例会では11人が登壇し
町政の将来を見据えて
一般質問を行った。

- 1 大森 秀久** P5
 1. 国民健康保険について
 2. 六栄保育所の民営化について
 3. 町の文書規程と運用について
- 2 竹本 信次** P6
 1. めざす未来の「まちづくり」について
 2. 若年者雇用対策の推進について
- 3 荒木 睦子** P7
 1. ごみ処理について
 2. 防災対策について
- 4 磯野 博** P8
 1. 固定資産税について
 2. 公共施設管理について
- 5 浦辺 朝章** P9
 1. 少子高齢化・人口減少に対応した住まい・まちづくりについて
 2. スポーツ活動の普及と施設等の整備について
- 6 樋口エミ子** P10
 1. 町民の文化、福祉の交流施設が集合している地点周辺の美化環境について
 2. 職員の駐車に関することについて
- 7 宮本哲太郎** P11
 1. 川の堤防について
 2. 車輛駐車について
- 8 市原 一広** P12
 1. 公共交通機関を活かしたまちづくりについて
 2. 安心して生活できる安全のあるまちづくりについて
- 9 浜村 芳光** P13
 1. 特別支援教育支援員の変更について
 2. 長洲町英語教育推進事業について
 3. 長洲町宮野地区地域優良賃貸住宅整備事業について
- 10 濱崎 久** P14
 1. 再び、行政財産（生産モデル池）を不法占有したのは誰か
- 11 福本みや子** P15
 1. 防災への取り組みについて

6月定例会 町政を問う 一般質問は11人が登壇



大森秀久議員

国保の制度改革で、町や町民にメリットが生まれるのか

答制度改正の趣旨に沿って取り組む課題と認識

問 今回の国民健康保険の制度改正は、何のために行われるのか。運営が県に移るメリットはあるか。

答 (町長) 今回の改革は、国保が抱える高齢化、医療費の上昇、所得の低下、財政の脆弱性など構造的な問題から、町から県へ財政を一本化するもので、メリットというより制度改正に沿って取り組むもの。

問 保険者が町から県に移るという理解でよいのか。

答 (福祉保健介護課長) 保険者は県と町になる。要は、共同運営を行う形になる。県は財政運営、町は保険税の決定や徴収の窓口的な業務を持つことになる。

問 被保険者の声で一番多い保険税が高いという問題で、財政運営が県に移って変化が出るのか。

答 (福祉保健介護課長) モデルとして3方式課税が示されており、町は4方式なので若干の変動はあっても基本的には変わらないと考えている。

問 県と町の協議では試算の結果が示されていると聞か、公表する考えはないか。

答 (福祉保健介護課長) 平成30年度に向けたシミュレーションで出された数字であり、公表により数字がひとり歩きする懸念があり公表する考えはない。

町立保育所を残すとデメリットがあるのか

答 保育内容に差はないが、国からの支援が受けられない

問 町立保育所を残すことが町民や子育て世代にとってデメリットになるのか。

答 (町長) 現在、保育サービスについては運動教室の導入や英語教育など保育内容に差はないが、公立運営であり、国等から支援を受けることができない。

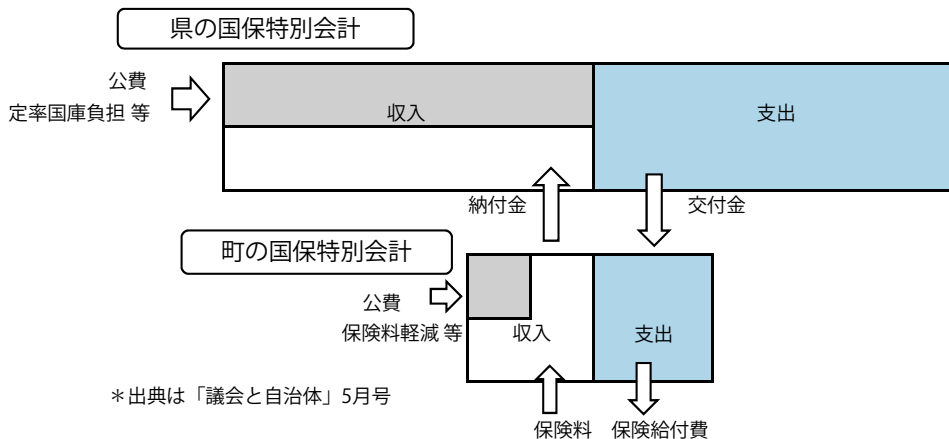
問 民営化検討委員は六栄保育所を見に行ったのか。

答 (子育て支援課長) 検討会において揃って見に行ったことはない。

問 民営化で発達障がいを持つ子どもの受け入れはどうなるか。

答 (子育て支援課長) 申し込みがあった場合、町ではどこで見ていただくのが一番いいか、いろんなところから意見をもらって入所調整を行う。施設には応諾義務がある。

「改革」後の国保財政 (イメージ図)



交付金は①保険給付に必要な費用を全額町へ交付②災害時による保険料の減免額等が多額であることや、町における保健事業を支援するなど、町に特別な事情がある場合にその事情を考慮して交付



竹本信次議員

近未来どうなるようになる町の公共施設

答施設利用状況を踏まえ公共施設再配置の方向性を示したい

問 高度経済成長期に整備された公共施設の耐用年数が近づき、今後その建て替えなどに要する費用の確保が課題となる。近未来、まちの公共施設は、どうなるとするのか。

答 (町長) 町が保有している公共施設の利用状況や維持管理コストなどを見える化し、用途廃止、複合化、統廃合を検討し、公共施設再配置の方向性を示したい。

問 今後税収の減少が予測され、公共施設の維持管理、更新のための財源の現状を確保できる確証はないと聞いている。未来の子どもたちへ負担をかけずに、公共施設を引き継ぐことができるか。

答 (町長) 今後、40年間で公共施設等の更新コスト25%以上の削減を達成するために、施設総量の削減、施設の長寿命化等を計画的に進め、将来にわたる財政負担の削減を図りたい。

今後税収の減少が予測され、公共施設の維持管理、更新のための財源の現状を確保できる確証はないと聞いている。未来の子どもたちへ負担をかけずに、公共施設を引き継ぐことができるか。

今後、40年間で公共施設等の更新コスト25%以上の削減を達成するために、施設総量の削減、施設の長寿命化等を計画的に進め、将来にわたる財政負担の削減を図りたい。



劣化・老朽化が進んでいる健康福祉センター

地域力で若者を創出する

地域産業づくりを

答 まちの産業を元気にし

若者の雇用拡大を図りたい

問 熊本県の雇用情勢はバブルに近い高水準にあるが、地域力で若者を創出する地域産業づくりの推進が必要である。町内主要企業の本年の新卒採用状況は。また、若年者雇用における課題は何か。

答 (町長) 町内企業の本年新卒採用は、大卒26名、高卒76名の102名(内女性7名)で、昨年とほぼ同じ状況である。今後の課題は、町内者の雇用を増やし定住化につなげることである。

熊本県の雇用情勢はバブルに近い高水準にあるが、地域力で若者を創出する地域産業づくりの推進が必要である。町内主要企業の本年の新卒採用状況は。また、若年者雇用における課題は何か。

町内企業の本年新卒採用は、大卒26名、高卒76名の102名(内女性7名)で、昨年とほぼ同じ状況である。今後の課題は、町内者の雇用を増やし定住化につなげることである。



若手新規就農者のサポートを

問 ミニトマトのハウス栽培で企業的農業経営に移行された生産者は、多くの課題に直面されている。若手新規就農者には償却資産等、農業経営の課題解決の支援が必要では。また、地域力で持続可能な農業生産基盤の整備を図り、若い後継担い手育成の支援が必要ではないか。

答 (農林水産課長) J Aと連携し、課題解決や償却資産の啓発を行い、青年等就農資金を活用した新規就農支援を考えている。

ミニトマトのハウス栽培で企業的農業経営に移行された生産者は、多くの課題に直面されている。若手新規就農者には償却資産等、農業経営の課題解決の支援が必要では。また、地域力で持続可能な農業生産基盤の整備を図り、若い後継担い手育成の支援が必要ではないか。

また、ミニトマト栽培の高度化に向けてICT技術の導入や、PR事業・ブランド化を目指し、次世代を担う若い後継担い手育成の支援を図りたい。



荒木睦子議員

事業所から出るゴミの減量化対策は

答 事業所を訪問し、現状調整等を行っている

問 家庭から出るゴミの減少と事業所（企業・店舗等）から出るゴミの増加の原因は。

答 （住民環境課長） 家庭からのゴミの減少は、人口減と各区の資源ごみ保管庫の設置事業によるものであり、事業所からのゴミ

の増加はコンビニやスーパーの新たな出店が原因となっている。
問 事業所からのゴミの増加に対しての対策は。

答 （住民環境課長） 企業（製造業の工場）は、独自に専門業者に運搬収集処理を行っている。コンビニや

スーパーに対しては、訪問を行い、意見交換する中で提案も行っている。
問 福祉施設や病院からのゴミの処理は

どのようにしているか。
答 （住民環境課長） 収集許可を持つている許可業者に委託し、クリーンパークで処理をしている。

熊本災害後の

町の取り組みや対策は

答 地域防災計画の見直し等意識向上を図る

問 災害後の町の取り組みや対策は。

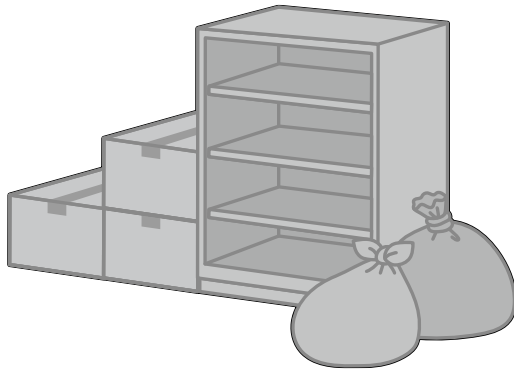
答 （町長） 各地域における要支援者の把握を行う。把握の方法として、一区一職員が区長さんや民生委員さんと協力し、対象者の把握に努める。その後完成した避難支援プランをもとに避難訓練を実施するよう全域に広げていく。

問 町職員の訓練は、どのようなやり方を行っているか。

答 （総務課長） 職員全員が登録している防災メールで就業時間外の任意の時間に災害の発生を伝える訓練用メールを行っている。

問 予期せずに実践的な訓練、非常参集訓練を行う考えはあるか。

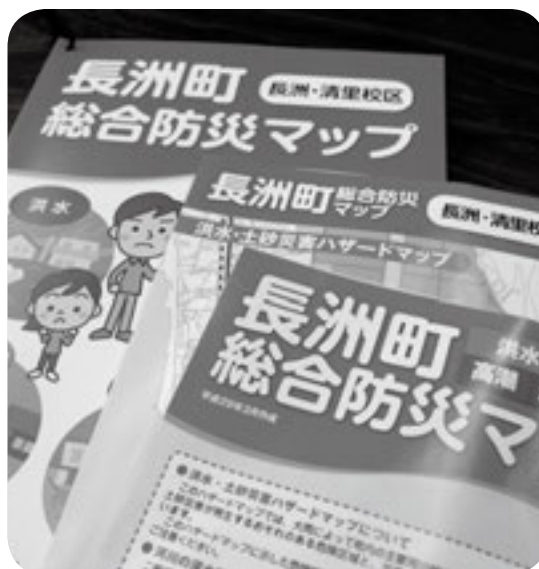
答 （副町長） 無予告の非常参集訓練、道路途絶時の徒歩による登庁訓練等、実践的な訓練も必要と思う。



捨てればごみ分ければ資源

問 災害時の要支援者に対する支援は。

答 （町長） 地域防災計画の見直しや、避難所の運営マニュアル策定又、防災行政無線子局の増設、防災倉庫、LED投光機等防災資機材の整備を行った。



災害時の備えの一つに



中学校の統廃合が必要と考える時期は

答児童・生徒数が減つて複式学級になるとき、あるいは明確になるときだ

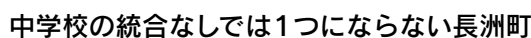
償却資産、農業関係に

減免の考えは

答 税の公平性の視点から

検討していない

ICTを活用した事業を行っている。データ収集を行ってICT化を進めるのが一つの方策ではないかと考えている。





今年度より始まった宮野地区優良賃貸住宅工事



浦辺朝章議員

少子高齢化、人口減少に対応したまちづくりとは

答 住宅や施設等含めた総合的なまちづくりが必要

問 若い世代が元気に働き、子育てができる環境と高齢者が安心して居住できるように公的賃貸住宅の整備、医療福祉、介護等のサービス拠点の整備等により多様な世帯が健康に暮らせるまちづくりをどう実現できるか。

答 (町長) 町営住宅の維持管理や今年度から取り組む地域優良賃貸住宅の整備を行い、住まいの確保を図る。一方商業施設や医療、介護施設及び道路や上下水道等のインフラ整備も含めた総合的なまちづくりが

必要と考えている。

問 住宅地の空洞化、空家化が進んでいる。高齢化率も上がり、買い物難民や交通弱者もふえている。高齢者と若い世帯が共に暮らしていけるコンパクトなまちづくりが必要ではないか。

答 (まちづくり課長) 無駄のない、コンパクトなまちづくりは必要だと思う。

問 そのためには、既存住宅や空家の活用が必要と思うが町の考えを伺う。

答 (まちづくり課長) 総合的に考えていきたい。



多くの参加者で賑わうバタンク大会

スポーツを通じた健康づくりの普及には

答 校区公民館事業として実施している

問 スポーツは健康づくりや医療・介護費の削減等が必要。しかし地域の方がスポーツに参加できる環境や機会が少ないのではないかと。

答 (教育長) 校区公民館事業として、ビーチボールバレーやグラウンドゴルフ大会等実施している。しかし、校区公民館にはグラウンドが備わつ

ていない所も多く、屋内でも活動できるプログラム等を今後検討していきたい。

問 子どもから高齢者まで一緒に参加できる競技、たとえば室内バタンクボールとか考えてみてはどうか。

答 (生涯学習課長) 小学生では、バスケット、サッカー、フットサル、バレーボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、陸上等9種目、180名の参加があつ

答 (生涯学習課長) ニュースポーツ等何ができるか考えたい。

問 長洲にここにクラブの現状、特に小学生の利用について伺う。



樋口エミ子議員

町の交流施設周辺の美化環境への視点は

答作業回数をふやし整えて適切な管理を行っていく

問 用水路の中から背高く雑草や雑木がおい繁っている。環境景観も悪い。

すこやか館周辺は子どもたちの健診や、健康を見守り育てる場所として良好な環境が必要である。

答 調整池には土砂が堆積し、雑草やごみも多い。定期的な作業はやっているのか。

(建設課長)

指摘を受け早速現地を確認した。確かに管理が行き届いておらず、雑草も水路よりお



草がおい繁っている貯水池

い繁り雑木が水路の壁より高く環境的に見た目も悪い。施設を利用される方にとって不快感を与えていると反省している。

問 例年シルバーの方がボランティアで除草作業をされているようだが、それを待っているのか。

(副町長)

シルバーのみならず他のボランティア団体にお声をかけ、職員で十分でない所を手伝

ってもらい、公共場所の美化環境にさらに努めていく。

問 公民館の入口に喫煙場所がある。公民館は特定健診の場所でもあり、長い間入り口の前に灰皿を置いていたのは配慮が足りなかったのでは。

(生涯学習課長)

設置場所については、できるだけ正面玄関から離れた場所を設けてそこに設置したい。



職員の車は公民館の西側へ

職員の駐車に関する

内規・規定はあるのか

答 利用上の規定は設けていない

問 6月の初め町の有志の方によりボラ

の空地、公民館の駐車場がきれいに整備され、利用者住民の方はとて

も喜ばれている。感謝するものだ。長洲町には職員の専用駐車場もなく自由に停めているようだが公用車、職員の車の台数は。

(総務課長)

公用車は消防署の積載車を含めて29台、職員は臨時職員も含め131台である。

問 多くの職員が公民館の駐車場の真ん中、中央一帯に駐車している。

(総務課長)

職員が自由に停めている状況で利用者の方には御不便をおかけしていると思っている。今後すこやか館、公民館西側のスペースに駐車するようにしたい。



草木が生い茂っている堤防

問 町には5つの川がある。浦川系を除きその堤防には草木が生い茂っている。菜切川、宮崎川、行末川は人も通れないほど荒れている。町は現状を知っているのか。

答 (町長) 宮崎川の宮崎橋より上流と浦川水路が町の管理でありその他は県管理の河川である。これについては町から毎年河川のしゅんせつ、自然木の伐採除草作業



宮本哲太郎議員

堤防の草木をきれいに伐採除草出来ないか 答県に適正管理をお願いする

等の要望を行い、県の予算範囲内で可能な対応をしてもらっている。一部区間について町は県より河川環境美化委託を受け町から受託希望の地元区や団体へ除草清掃を委託している。また随時地元区などから要望あつた箇所については県へ連絡し対応をお願いしている。県管理河川道路は、しゅんせつや除草等適切に管理するよう要望する。町管理河川については通行に支障がないよう管理する。

問 以前は堤防が通路になつていたが、今はそのおもかげもない。通れるようにしてほしい。

答 (建設課長) 予算的な、問題で

管理が行き届かなくて手をつけられていないので要望活動を行っていく。堤防道路も人が通れるところもある。また農耕者の方にも自分たちが使う道路として協力してもらうし区役等で日常使う道は地元の協力を求めている。

問 県には雑草や木があると聞いているが借りられないのか。

答 (建設課長) 作業は業者に委託してあるので県はもっていない。

問 堤防の利用価値が少なくなってきた。ごみの不法投棄にならないか。

答 (建設課長) 不法投棄が出来ないように注意を促す。

路上駐車を認めているのか

答 禁止看板と標識をたてる

問 総合スポーツセンターの裏から健福センターへ通る道筋にはいつも車が駐車している。また体育館の裏にも駐車している。認めているのか。

答 (生涯学習課長) 公道ではないので、駐車禁止の看板と表示を考えている。

答 (教育長) 体育館裏から健福センター入口付近までは認めていない。体育館裏には利用者が多い時は駐車スペースとして考えている。

問 駐車禁止標識がないのはなぜか。



駐車禁止の看板を



市原一広議員

今後も特急列車存続で推移していくのか？

答 重要性を訴え、強く要望していきたい

問 長洲町の住民や勤労者にとって、鉄道は通勤・通学・観光における重要な移動手段であり、その利便性の維持・確保、また施設の安全性においてJR九州との連携を

図っていく必要がある。①九州新幹線の全線開業から6年。その効果と、九州新幹線を生かしたまちづくり、まちの活性化にどう取り組まれているのか。②以前、長洲駅には上下30

本の特急列車が停車し、通勤・通学の利便性はとても良かったが、現在は上下5本となった。果たしてこのまま特急列車存続で推移していくのかと危惧するが。

答 (町長) ①長洲町への効果

答 防災体制の強化が安全安心なまちにつながると考える

問 当町での防災組織整備率は100%

現在町内での防災士は14名だが、今年度は、防災士の資格取得のための助成を行うなど、今後も地域の防災リーダーとなる防災士の育成に力を入れていきたい。

答 平成27年の長洲町の自主防災組織の活動は、21の組織で60%だ、また組織の充実・強化については、訓練への相談・助言や女性消防隊による救急救命法や防災講話を通じ、強化を図ってきた。防災士の育成については、

答 (町長)

②現在、特急有明の利用客は減少していると聞いている。町としてはJR九州への文書での要望やJR関係者との協議の場において、長洲町の現状やまちづくりの方向性について、話や情報収集を行っており、特急列車存続についても、今後も強く要望していく。

平成27年の長洲町の自主防災組織の活動は、21の組織で60%だ、また組織の充実・強化については、訓練への相談・助言や女性消防隊による救急救命法や防災講話を通じ、強化を図ってきた。防災士の育成については、



JR九州 長洲駅列車時刻表

玉名・熊本・八代方面 大牟田・博多・小倉方面

特急	普通	普通	特急	普通
5	05	48	6	16
7	29	12	7	14
8	30	05	8	35
9		16	9	36
10	52	12	10	35
11	51	10	11	35
12	50	12	12	35
13	53	13	13	35
14	50	14	14	35
15	53	13	15	35
16	51	13	16	35
17	55	13	17	35
18	52	13	18	36
19	53	13	19	36
20	52	15	20	
21		22	21	53
22	42	13	22	
23	13	20	23	0

新幹線開業前の長洲駅時刻表



より効果的な英語教育を



浜村芳光議員

4月導入の英語教育推進事業の現状は

答 英語指導者1名を曜日別に各学校に配置している

問 英語教育推進事業の実施に当たり時間をどのように確保したか。他の授業に影響はないか。

答 (教育長)
3学年と4学年は「総合的な学習」の時間を削減して英語科の

授業に充てている。さらに、朝の15分を英語科の短時間授業として1週間に3日実施して授業数を確保している。

問 長洲町における小

学校の英語教育は国が示している2020年度以降のものとは

較しても進んでいるが今後の推進についてどのように考えているか。

ともに、3年の教育課程特別校の指定について、国の動向を見ながら指定延長も検討し、本町の英語教育の推進を図っていく。

解体工事が開始されたが危険への対応は

危険への対応は

答 低騒音で既設のコンクリート住宅を解体できる圧砕機を使用

問 宮野地域優良賃貸住宅整備事業の解体工事が開始されたが、住民への騒音や大型車両の出入りによる危険への対応は。

答 (町長)
既設住宅の足場に防音シートを設置するなど、十分な騒音対策を行っている。大型車両の出入りによる対応

問 工事現場前の通路は、小中学校の通学路であり危険である。対策は。

答 (教育長)
通学路の安全対策については、保護者を対象に、2通りの通学路の案を提示し、アン

ケートを実施した。その結果、六栄保育所前から、宮野住宅の北側を通り、学校の裏門に入るとして通学路になっている。

問 特別支援教育支援員の任用について、募集に際して、応募が少なく、定員に満たないので28年度により任用形態を臨時職員として任用したとのことであるが、その成果は。

答 (教育長)
臨時職員として任用したことにより、子育ての経験などから児童生徒や保護者に信頼を受ける方を任用する



工事中は危険がいっぱい

問 募集方法を見直すなどのことであつたが、どのような見直しをしたのか。

答 (教育長)
ハローワークへの募集の掲載をはじめ、教育関係の委員から情報収集をした。



濱崎 久議員

行政財産（金魚村）を無断使用しているのは誰か

答使用許可をやめると答弁したが3月末再許可した



金魚村

問 町長の決裁日は何日になつてゐるか。

答 （農林水産課長）
許可申請は3月31日だが決裁の日は、わからない。受付けた職員名もわからない。

問 受付者不明で公文書になるのか、6月13日許可を4月1日にさかのぼるなど奇妙だが。

答 （町長）
書類通知が遅れただけと思つてゐる。

問 金魚村の契約解除後、原状回復15日間の確認対策はどうしたか。

答 （農林水産課長）
早期に金魚の撤去をお願いしてゐた。

問 課長は4月1日から、金魚村の無断使用者が組合長だったと確認し、早期に撤去するよう組合に話したというが、その後も無断使用者、不法占有者だとして、私と共有していたものが、突然豹変した理由は何か。

答 （農林水産課長）
申請書が6月9日机の中から出てきて、私の決裁も押されてあつた。

問 面積の確認は誰がしたか。

答 （農林水産課長）
してゐなかつたというふうにいる。審査は、私が書類を見つけた後に行つた。

問 この金魚村は不法占有が指摘されている。そしてついに町長も使用許可をやめると答弁されたのだ。にも係らず再び許可がなされた。なぜ4月から指摘しているにも係らず、事前に全員協議会などに説明しないのか。

答 （農林水産課長）
大変申し訳ない。金魚の移動のあいだ、申請の延長の許可という形で、口答で許可を行つてゐる。受付の事務に関してはミスがあつたと思つてゐる。

問 町は今まで、金魚村の作業所にコンパネや、壊れた椅子や扇風機など解体業者が搬入したような資材を不法に置いていた事実

答 （町長）
今後こういうことがないよう注意してまゐりたいと思つてゐる。



防災の本質は予防にあり、繰り返し訓練を



福本みや子議員

地域との協働で防災体制をどうすすめるのか

答 計画を見直し地域と一体化した活動を推進する

問 熊本地震を経験し
それまでの防災計
画の反省や課題にどう
対処していくのか。

答 (町長)
避難所運営、夜間
の職員の参集などに反
省点があった。計画を

見直し、災害発生時の
各種マニュアルの作成、
防災行政無線5局の増
設、防災資機材の整備、
防災倉庫購入などをし
た。今回修正した防災
計画も、町の防災会議で
承認された。

更に防災士育成、マ
ップを活用した避難訓
練など地域と連携し協
働体制を活かせる組織
に整備していく。

答 (総務課長)
AED設置場所は
高齢者にも分りやすい
方法を検討する。講習
も女性消防隊や消防団
と連携し普及に努めた
い。少人数の団体でも
申請して講習を受けて
いたきたい。

学校は地域と連携して

防災活動を！

答 地域との合同訓練を計画中

問 文科省委託の長洲
中学校の訓練の検
証や課題は。

答 (学校教育課長)
熊本地震で訓練ど
おりの避難が出来た。
その後も避難訓練を行
い、校舎内の避難経路
の確認、施設点検をし
ている。昼夜に関係な

く安全対策の検討が必
要である。

問 児童生徒が地域を
手助けすることは
教育的にも意義がある
今後の予定は。

答 (学校教育課長)
長洲中学校は生徒
が訓練での反省や課題
を整理し11月の合同訓



地域と一緒に訓練、上へ上へ

練に向けて準備してい
る。他校も合同訓練の
予定がある。

問 児童生徒の防犯グ
ッズとしてパーソ
ナルカードや笛、防災
頭巾などがあるが導入
を考えるか。

答 (学校教育課長)
小中学校のPTA
の十分な理解と協力が
必要と考える。

問 地域の異なる状況
での対策や行動を
考え話し合う防災学習
デーを設けてはどうか。

答 (副町長)
防災・避難訓練を
他者依存や思考停止せ
ず、状況に応じて、最
良の行動方針をとる自
助努力が大切だ。今後
の参考にし防災力向上
を図っていききたい。

夢づくりトーク with 議会



特別教室へも 空調機の設置を

3年1組第1グループ
くみわき かずやす
リーダー 組脇 一泰さん

問 昨年、普通教室に空調機（エアコンと地中熱利用換気システム）を設置していただき、教育を受ける環境がとても快適になりました。

しかし、特別教室には設置されていないので、設置をお願いします。

答 特別教室への設置には多額の費用がかかり、導入については、財政状況を考慮して判断していきたいと思います。



安心・安全な 登下校について

3年1組第2グループ
しおみ じゅんき
リーダー 鹽見 純聖さん

問 学校の帰りが遅くなると、暗い道が多く、防犯面、交通面で危険に思います。街灯や防犯灯をふやして欲しいです。

答 みなさんが安心して通学できるよう街路灯、防犯灯の設置を薦め、さらに防犯の強化を図るため、町内12か所に防犯カメラを設置する予定です。



未来館に若いアーティストを 呼んで欲しい

3年1組第3グループ
うめむら み ゆ
リーダー 梅村 実結さん

問 未来館での催し物に若者が興味を持てる歌手やアーティストを呼んで欲しいです。

答 現在、指定管理制度を導入し、住民サービスの向上を図っていますが、有名なアーティストのコンサート等には多額の費用が必要となり、観覧料も高額となります。今後、町でも「なんでも鑑定団」等の開催を予定しているので、ぜひお越しください。



学校施設の補修について

3年1組第4グループ
なかしま あかり
リーダー 中島 陽里さん

問 1年生の教室のフローリングが古くなっており、危険。また、昇降機も壊れていて使えません。補修をお願いします。

答 補修等については、緊急性が高い箇所を優先に修繕計画を立てています。昇降機については、現在、長洲中学校に足が不自由な生徒がいないため動かさないようにしており、故障しているものではありません。



3年1組
ながい ゆうき
永井 佑樹議長



中学生代表あいさつ

生徒代表
福田 大耀さん

自分の町にしっかりと目を向け、これからの長洲町を私たち中学生が発展させていく覚悟をもって頑張っていく。

子どもたちから長洲町への提言！

7月19日、役場議会議場で開催。長洲中学校3年生
8グループが登壇し、まちづくりへの提言を堂々と発表！



スポーツ振興で 町の活性化を

3年2組第1グループ
リーダー 福田 たいよう 大耀さん

問 若い世代から高齢者までひきつけるスポーツ施設があれば、町外からの利用もふえ、町の活性化に繋がると思います。町の考えを伺います。

答 町ではスポーツの力で活力ある明るいまちづくりを基本理念として、計画的にスポーツの振興を推進しています。新たな施設の充実には、財政面を含め、長期的視点で取り組んでいるところです。



N(長洲)A(新しい)M(祭)で 若者を集めよう

3年2組第2グループ
リーダー 木村 きむら れん 蓮さん

問 本町には、外国の方も多く住んでいます。国際的な祭りや中学生・高校生が魅力に感じるようなイベントを考えて欲しいと思います。

答 長洲町国際交流友の会では、クッキング教室や「英語でしゃべらないと」等の交流活動が行われています。また、中学生・高校生が魅力を感じるイベントについては、みなさんの若い考えで企画を考えてもらい、その取り組みを町も支援していきたいと思いますので、一緒に頑張っていきましょう。



町のPR方法について

3年2組第3グループ
リーダー さかうえ あやか 坂上 絢香さん

問 本町でも人口減少がはじまっていてとても不安です。本町独自のPR動画を作成して、もっともっと長洲町の良さを町内外にPRしてはどうでしょうか。

答 熊本県や荒尾市、玉名市、玉東町、和水町、南関町と連携し、お笑い芸人ヒロシさんとコラボした動画「あらためて荒玉です」を公開中。また、町独自のPR動画「ぎゅっと長洲」も今年4月に公開しました。ぜひみなさん見てください。



長洲町の 駅前整備について

3年2組第4グループ
リーダー みやもと りこ 宮本 莉心さん

問 長洲駅の周辺は、草が生えていたり、自転車捨ててある現状がとても残念です。整備してはどうですか。また、駅前で特産品の販売ができれば、駅利用者がふえ、周辺の発展にもつながると思います。

答 長洲駅は町の玄関口として、常時景観を保つ必要がありますので、随時状況を確認してスピード感をもって環境美化に努めます。また、駅前への特産品販売店の設置計画は現在のところありませんが、より住みやすく、にぎわいのある地域を目指していきます。



3年2組
にしかわ ゆうし
西川 侑志議長

夢づくりトークを終えて…

- 大人になった時に、ふるさと長洲町に少しでも恩返しができれば。
- 夢づくりトークを経験して、政治にも興味がわきました。
- 長洲町の一員であり、いずれ選挙権を持つことをしっかり意識していこうと思う。
- 発言するときはそれなりの責任を負うことをふまえて発言しようと思う。

～ 長洲中学校3年生の感想抜粋 ～



町民のひろば

町民の声

水上オートバイで地域貢献！

シーバード肥後ながす（上沖洲区）

全国で40番目の拠点となる「シーバード肥後ながす」の開所式が6月10日、長洲町B & G海洋センターにて80名の来賓や関係者が出席して行われました。

この母体となるシーバードジャパンは、水上オートバイを用いた地域貢献活動を目的に2013年4月に全国展開をスタートした団体です。熊本では2番目となる「シーバード肥後ながす（代表 中尾政光）」は、水辺の安全促進に限らず、海、川とその周辺域において地域に密着した広範囲にわたる活動を展開するボランティア団体です。

これからは、水上オートバイの体験乗船などの親水活動、子どもたちへ海の魅力を発信する活動、環境保全活動などを企画していきますので、皆様のご支援・ご協力をお願いします。



海難救助にも一役

傍聴席から一言

大山 彦子さん（古城区）



一般質問の傍聴をさせていただきありがとうございました。

町の為、町民の為にと議員の方々、役所の方々のご活躍に感謝致します。きちんと対応された答弁、上手に逃る答弁、議員さんに指摘されないといけない町の姿勢等をまのあたりにしまして、以前ボランティア活動の折に感じとった様々な疑問について今回の傍聴で理解できるものがありました。また傍聴に行きたいと思っています。

ひとこと

10月19日付けでの現職議員としての任期満了が近づいている。9月定例会が最後となり、その後町民からの審判を受けることになる。

町の現状、未来に向けて、議場での町の予算決

算、計画等のチェックは十分にできたか一議員として自己を振り返る時でもある。

7月19日今年スタートした長洲中学校3年生の夢づくりトーク with 議会。8グループが登壇、

町に望むことや学校生活で気付いた事など意見提言があった。彼らもこの先3年後には選挙権を手にするので、今回の体験がきっかけとして、のスタートをきってくれると感じた。

（樋口）

皆さん傍聴に出てこんね！

次の定例会は

9月7日(木)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

発行責任者		広報委員	
議長	松井 一也	委員長	徳永 範昭
委員	樋口 エミ子	副委員長	竹本 信次
委員	浦辺 朝章	委員	福本 みや子
委員	荒木 睦子	委員	大森 秀久